



# 安心して暮らせる医療の充実に向けて 医師・看護師を確保するために

医師不足が深刻な地域医療。県内のどの地域に住んでいても、誰もが「安心・安全で快適な暮らし」を実現できるよう、医療の充実に関するさまざまな対策を実施しています。今回は、その中でも重要な、医師・看護師の養成・確保についてリポートしました。

## ● 医師・看護師の養成と確保のために

全国で問題になっている医師不足。同様に看護職不足も問題となっており、医師と看護職の確保が重要な課題となっています。

県では、医師を確保するために、医師確保支援センターを設置し、県内の医療情報の積極的な提供や、医学生への修学資金の貸与、県内に勤務する研修医に対する奨励金の支給など、さまざまな対策をしています。

また、近年増加する女性医師に対して、子育てのしやすい環境を整備し、医師の確保につながるような対策をしています。

看護職の確保では、看護師養成所を運営するための補助や、看護職志望者への修学資金貸与など、養成側と志望者の両方に対して支援するとともに、働き続けられる職場環境づくりのため、病院内保育所の運営費助成に加え、新たに定着促進コーデー



ネーターの派遣などを行っています。これらの対策により、医師・看護師の不足が解消され、私たち県民が安心して暮らせるような医療の充実を期待したいと思います。



平成22年7月に運航開始予定のドクターヘリ (写真はイメージです)  
フライトドクターが救急現場に急行し、速やかに初期治療を開始することで、救命率の向上や後遺障害の軽減に効果が得られます



女性特派員：沼尾朝子

# 茨城空港

2010年3月開港!



2010年3月、首都圏3番目の空港として、茨城空港が開港します。利用者の利便性を考慮したターミナルビルは、シンプルな造りとなっています。また、タラップによる乗降などの徹底したローコスト化を図っていることから、特に海外のLCC(格安航空会社)から注目を浴びています。

開港を控え、空港へのアクセス道路の整備も進んでいます。無料駐車場も用意され、空港へのバスも運行される予定なので、多くの人にとって便利な空港となるでしょう。

開港後には、茨城～ソウル便が毎日運航するほか、開港数カ月後には茨城～釜山便も週3程度運航する予定です。韓国への旅がぐっと近くなる茨城空港にますます期待が高まります。



【女性特派員:石森松枝】

県空港対策課 ☎029(301)2761 2749  
<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/kuko/>

## 地域で活躍する若手医師

「医者になった以上は、人生の半分は患者さんのもの」と話す石上耕司さんは、独立行政法人国立病院機構水戸医療センター外科に勤務しています。救命救急医を目指す石上さんは、病棟の患者さんの手術・診療と並行して、救急診療も行

「来年度、水戸医療センターにドクターヘリが導入されます」と石上さんは自身の目指す救急医療を実践するため、研修後も県内初のドクターヘリのフライトドクターに志願しています。「県北などの医療体制の整っていない地域ヘドクターヘリで駆けつけ、早く治療を開始することで、一人でも多くの方を救まなごしの先に、献身の精神と医療の明日が見えました。このような若手医師の活躍により、医療の充実が図られることに期待が膨らみます。」



石上耕司医師

茨城県の医師確保については

茨城県医師確保支援センター

検索

## 看護職の再就職希望者を支援

育児や介護などの事情で看護職を離職した方が、医療現場へ復帰するための支援を実施しています。

県看護協会のナースセンターでは、「離職中の医療技術の向上に対応できるのか不安」といった声を解消するため、復職を考えている方に対し、講義や個人の目標に合った内容で病院での実習を実施しています。

研修では、受講者が「ちょっとチクッとしますよ」と声をかけながら真剣な表情で実技に取り組んでいました。最近は、短時間勤務、訪問看護や介護施設での看護など看護職の方の働き方や働く場が拡大しています。看護職としての働きを取り戻し、現場で活躍する方が増えることを切に願います。



看護職員再就業支援研修

### 看護職員の就職相談

県ナースセンター(県看護協会) ☎029-221-7021  
<http://www.ina.or.jp/>



## 救急医療に関するお知らせ

現在、重症患者の受け入れを担うべき二次・三次救急病院では、医師が軽症患者の対応に追われているため、真に緊急の治療が必要な患者の受け入れに支障を来す状況となっています。

### 【救急医療の適正利用のお願い】

- 緊急でなければ、検査や治療が十分にできる通常の診療時間内に受診しましょう。
- 休日・夜間で、比較的症状の軽い場合は、地域の休日夜間急患センターや在宅当番医を利用しましょう。
- 救急車は、緊急性の高い病気やケガの時に利用しましょう。

### ◎茨城子ども救急電話相談

平日 18:30~23:30  
 土曜日 9:00~17:00  
 日祝日 18:30~23:30

フッシュ回線の固定電話、携帯電話から  
 短縮ダイヤル **【#8000】**  
 すべての電話から  
**【029-254-9900】**

### ◎県救急医療情報システム

病気やケガをしたときに医療機関を検索することができます。

029(241)4199(24時間対応)  
<http://www.qq.pref.ibaraki.jp/>

女性医師の子育て支援・復職相談については  
 女性医師就業サポート相談窓口(県医師会)  
 ☎029(241)7467

医師・看護師確保・救急医療については  
 県医療対策課  
 ☎029(301)3191 FAX3199